

補助事業番号 ㊦ 1-133

補助事業名 平成 22 年度 世界少年野球大会の開催 補助事業

補助事業社名 財団法人 世界少年野球推進財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界少年野球大会は、日米のホームランキング王貞治、ハンク・アーロンの両氏が、正しい野球を全世界に普及・発展させるとともに、世界の少年少女たちが国際交流を通じて相互の理解を深め、世界平和と健全育成の促進に寄与しようとの趣旨で開催しています。1990年に第1回大会をアメリカ・ロサンゼルス市にて開催して以降、毎年アメリカ、カナダ、プエルトリコ、日本で継続して開催してきました。

本年度は、第20回記念大会として昨年度のプレ大会として開催した「世界少年野球フレンドシップ東京大会」に引き続いて、東京都で開催しました。



世界 24 か国・地域から 419 名の少年少女が参加して、国際野球連盟が派遣した 12 名のコーチの指導により正しい野球の競技ルールと基本技術を習得しました。



国際交流試合では、台湾の少年チームとオーストラリアの少女チームを招聘して、東京都の少年少女 11 チームと対戦して、友好と親善を深めました。



交流行事では、大学野球選手権大会を観戦してトップレベルの試合を目の当たりにし、歌舞伎勉強会では日本の伝統文化に触れました。大田倶楽部の協力で行ったお祭り体験では、地元住民から和太鼓や盆踊りを習って交流を深めました。

参加した子どもたちは友情と信頼の輪を広げ、貴重な国際親善を経験しました。



(2) 実施内容

〈大会名称〉

「世界少年野球大会 東京大会」

〈大会テーマ〉

「Face to Face 笑顔でつなぐ東京と世界」

〈事業内容〉

1. 世界 20 か国・地域の少年少女が参加して野球教室を行いました。
2. 台湾の少年チームとオーストラリアの少女チームが東京都の少年少女 11 チームが国際交流試合で対戦しました。
3. 日本や東京の文化に触れる様々な交流行事を実施しました。

〈期日〉

平成 22 年 7 月 29 日（木）～8 月 6 日（金）

〈会場〉

駒沢オリンピック公園総合運動場

〈参加チーム宿舎〉

国立オリンピック記念青少年総合センター

〈参加国・地域〉

（野球教室）中国、香港、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、パキスタン
ニュージーランド、サイパン、アメリカ、カナダ、マルタ、プエルトリコ
フランス、スウェーデン、オーストリア、イタリア、チェコ、オランダ
チュニジア、ミクロネシア、日本 （22 か国・地域）

（交流試合）オーストラリア、台湾、東京都内 11 チーム

〈参加人数〉

少年少女： 419 名（海外 143 名、日本 276 名）

監督・コーチ： 39 名（海外 6 名、日本 33 名）

（合計）： 458 名（海外 149 名、日本 309 名）

〈日程〉

7 月 29 日（木）	各国少年・少女到着、受付、登録、用具配布 交流試合海外チーム入国
7 月 30 日（金）	用具配布 ウェルカムパーティー（国立オリンピックセンター・国際交流棟）
7 月 31 日（土）	開会式、記念撮影（駒沢オリンピック公園・硬式野球場） 野球教室 NO. 1（駒沢オリンピック公園・軟式野球場） 交流試合 1（駒沢オリンピック公園・硬式野球場） 世界大学野球選手権観戦（神宮球場）
8 月 1 日（日）	野球教室 NO. 2（駒沢オリンピック公園・軟式野球場） 交流試合 2（駒沢オリンピック公園・硬式野球場） お祭り体験（平和島公園野球場・平和島ユースセンター）
8 月 2 日（月）	野球教室 NO. 3（駒沢オリンピック公園・軟式野球場） 交流試合 3（駒沢オリンピック公園・硬式野球場）

	歌舞伎勉強会	(東劇)
8月 3日 (火)	野球教室 NO. 4	(駒沢オリンピック公園・軟式野球場)
	交流試合 4	(駒沢オリンピック公園・硬式野球場)
	プール体験	(江戸川プールガーデン)
8月 4日 (水)	野球教室 NO. 5	(駒沢オリンピック公園・軟式野球場)
	交流試合 5	(駒沢オリンピック公園・硬式野球場)
	都内見学と買い物体験	(お台場)
	グッドウィルパーティー	(東京ドームホテル)
	記念パーティー	(東京ドームホテル)
8月 5日 (木)	野球教室 NO. 6	(駒沢オリンピック公園・軟式野球場)
	記念植樹	(駒沢オリンピック公園・硬式野球場)
	閉会式	(駒沢オリンピック公園・硬式野球場)
	交流試合海外チーム帰国	
8月 6日 (金)	各国少年・少女帰国	

4. 予想される事業実施効果

参加した子どもたちは国際交流試合や交流行事を通じて相互理解を深め、友情と親善の輪を広げることが出来ました。

子どもたちは他国でも野球に親しむ仲間が大勢いることを知り、野球を通じて友情が芽生えることを体感しました。今後は子どもたちがそれぞれの国や地域で、野球を続けてくれるだけでなく、野球を通じて出来た新しい友達と連絡を取り合い国境を越えた交流を続けてくれるものと期待しています。

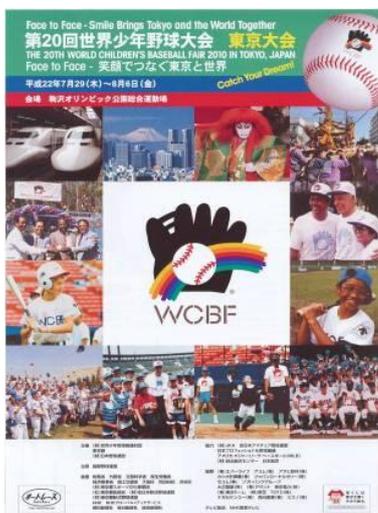
これからは少女の野球愛好家が益々増えていくことが予想されます。性別に関係なく次世代を担う子どもたちが野球に親しむことで、野球競技の普及が世界的に促進されるものと期待しています。

交流行事に参加した海外の子どもたちは、日本や東京の文化に触れることが出来ました。本事業が他国の文化を理解する良い機会になったことと思います。



5. 本事業により作成した印刷物等

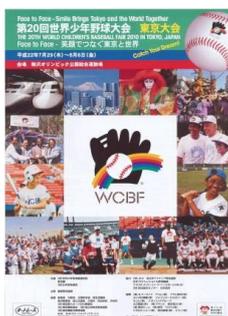
①大会ポスター



②国際交流試合ポスター



③大会チラシ



(表)

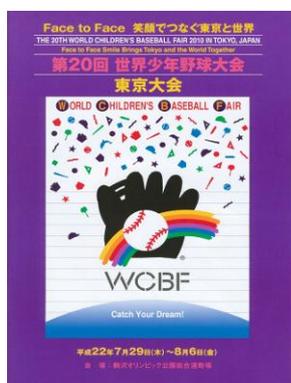


(裏)

④フォトブック



④大会総合プログラム



⑤交流試合メンバー表



6. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 財団法人 世界少年野球推進財団 (サ`イダ`ンホウジン セカイシヨウネンヤキウスイシンザ`イダ`ン)

住所： 102-0074

東京都千代田区九段南 4-2-10 小林ビル 2 階

代表者： 理事長 王 貞治 (リジ`チヨウ オウ サダ`ハル)

担当者名： 飯田 邦雄 (イイダ クニオ)

電話番号： 03-5212-4466

F A X： 03-5212-1189

E-mail： wcbf@wcbf.or.jp

U R L： <http://www.wcbf.or.jp/>